

森林と人との共生をめざし

(赤沢自然休養林来園者の声から)

木曾森林管理署・南小川森林官 いのうえ ○井上 もとほる 元晴
係員 よだ 依田 なおき 直紀

要 旨

自然（森林）に対する国民の関心・期待が高まるなかで、当署管内の赤沢自然休養林は多くの人に利用され、平成11年度に指定30周年を迎えた。これを節目とし、休養林内の見直しを局・上松町等と検討・協力を図り、様々な改修整備を行なった。利用者の意見をj得る事で、赤沢自然休養林に於ける『森林と人との共生林』の姿を模索し、機能の充実を図る為アンケート調査を実施した。

はじめに

赤沢自然休養林は木曾郡上松町の市街地から西へ約1.5kmの所に位置し、標高1,080～1,558mの傾斜の緩い丘陵地帯で、幾筋かの小川と、天を突く樹齢300年を超える天然ヒノキに囲まれた、美しい風景を有する休養林である。（写真-1）

日本三大美林に数えられる赤沢は、そこにある自然がメインの観光地である。現在、地元上松町の観光の中心的な場所として、多くの観光客や修学旅行生など、年間10万人近くの人が、自然に触れ合う事を目的として来園して来ている。また近頃はマスメディアによる宣伝や紹介、園内を走る森林鉄道の人気も手伝って、来園者数もここ数年安定して来ている。

もっと多くの人に気軽に森林散策を楽しんでもらい、森林の事を知ってもらう為、標識・説明看板の整理・新設、既存施設の改修・改装、遊歩道整備、コース別の位置確認No杭の設置、吊橋の架け替え工事等の各種整備を実施した。（写真-2～4）

これらの整備が一般の人達にどのように捉えられ、受け止められているのかを、今後の森林づくり^{もろ}の方向性を探る為、実施したアンケートの結果を報告する。



写真-1 奥千本天然林



写真-2 説明看板



写真-3 ふれあいの道



写真-4 赤沢橋（吊橋）

1 アンケート

アンケート実施期間は、平成11年7月下旬から10月上旬までの約2ヶ月間であり、来園者数の多い時期に設定した。

(上松町観光協会主催による子供向けイベント、トムソーヤクラブ村木曾上松の開催期間に合わせた)

アンケート用紙と回収箱は森林センター、森林資料館、森林鉄道記念館に設置し、来園者に記入をして戴いた結果、826枚の回答を得る事が出来た。(写真-5)

以下使用したアンケート用紙を掲載する。

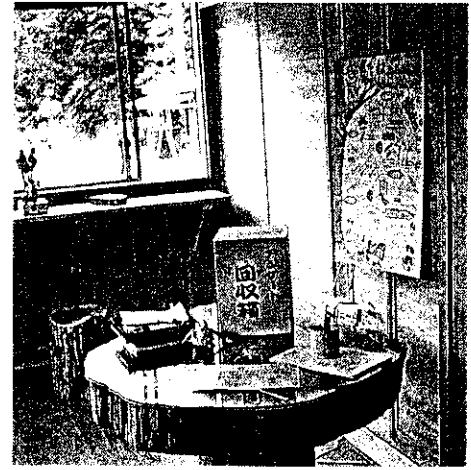


写真-5 森林資料館内

表-1 アンケート用紙

赤沢自然休養林はいかがでしたか？ [アンケートのお願い]

このアンケートは、赤沢の自然に、時を越えゆったりと浸り・ふれあい、満足していただくことが出来るために皆さんの声をお聞きするものです。ご協力ください。

《お帰りの際は、アンケート箱にお入れください》

★あなたは (○を付けてください)

1 【男性・女性】

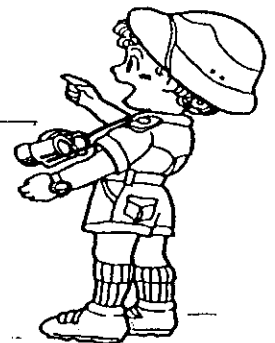
2. どちらから見えられましたか？

【・関東 ・関西 ・中京 ・県内 ・その他 ()】

3. 年齢をお聞かせ下さい。

(19歳未満・20～29歳・30～39歳・40～49歳・50歳以上)

- Q 1. 赤沢自然休養林へ今回訪れたのは何回目ですか？ () 回目
- Q 2. 再び訪れたいと思いますか？
a. もう一度来てみたい。 b. 一度来たからもういい。
- Q 3. どのコースを散策しましたか？
a. ふれあいの道 b. 駒鳥コース c. 向山コース
d. 中立コース e. 冷沢コース f. 上赤沢コース
g. 溪流コース h. 園地内 i. 森林鉄道乗車コース
- Q 4. 滞在時間は？
a. ～1時間 b. ～2時間 c. ～3時間 d. ～4時間 e. 4時間以上
- Q 5. 案内看板・説明看板は解りやすかったですでしょうか？
a. 解りやすい。 b. 解りにくい。
c. 意見等
- Q 6. あなたが入館した施設は？
(1) a. 森林センター b. 森林資料館 c. 鉄道記念館
(2) 印象はどうでしたか？
a. 良い b. 普通 c. 悪い
- Q 7. 赤沢自然休養林に関するご意見・要望等お聞かせ下さい。
(印象に残ったこと、改善すべきこと等)



ありがとうございました。

木曾森林管理署 (木曾郡上松町正島町1-4 ☎0264-52-2083)

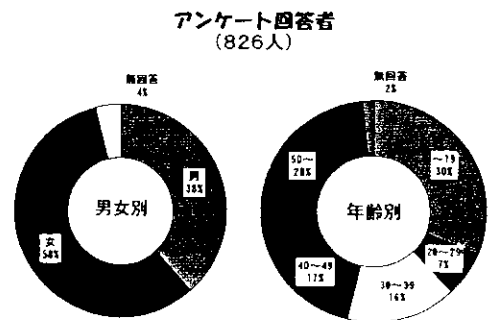
2 アンケート調査結果

以下アンケート調査結果について、各問毎に分析する。

(1) 基本質問①, ③

- ①男女別…男性4割, 女性が6割といった結果であった。女性の方がアンケートに好意的だったものと思われる。
- ③年齢構成…19才以下が30%だったのは, 調査中に子供向けイベントが開催中で, 低年齢層が多かったためである。50才以上が28%だったのは, 気軽な森林散策を目的とする, 中高齢者が多かったためと思われる。

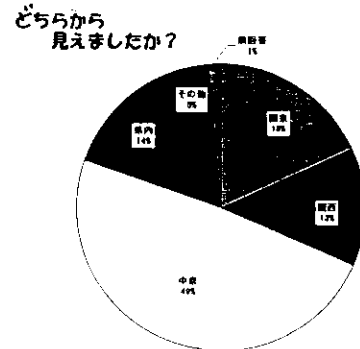
図-1 男女別・年齢構成



(2) 基本質問②

- ②地域別…来園者の多くが自然にふれあい, 行楽や散策を目的に来られる事から, 自然環境の少ない都市部からの流入が当然多くなり, また当園地までの距離が大きく関係しているものと考えられる。そのような要因から, 比較的当園地のある木曽郡に近い中京地域が半数を占め, 次いで関東, 県内, 関西といった結果となったものと思われる。

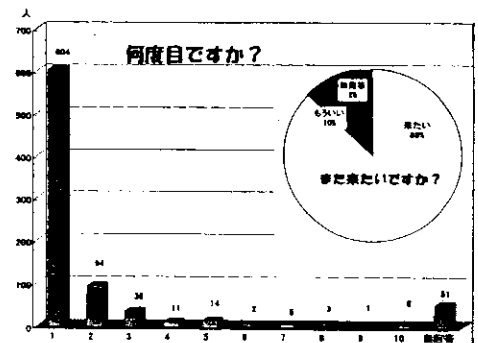
図-2 どちらから来られたか?



(3) Q1, Q2

Q1の質問では, 初めて来たが最も多く 604名を計上したが, 2度目以降は大幅に減少し横這い状態である。Q2の質問の“再度訪れたいか”では9割弱の来園者が『また来たい』と希望していることから, それに応えられるよう, 環境整備の推進, 魅力あるイベントの開催, 宿泊施設等の充実を図る必要があると考える。

図-3 来園回数・再度訪れたいか?

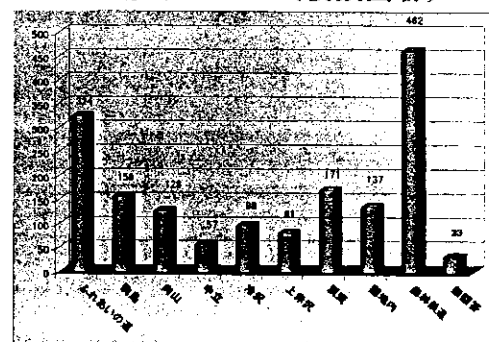


(4) Q3

森林鉄道と, ふれあいの道は, 誰でも気軽に散策が出来るコースであり, アトラクションとして人気の高い森林鉄道と, 全線バリアフリー構造で移動がし易いふれあいの道は休養林のメインコースとなっている。

自然散策といった点では, 駒鳥, 向山, 溪流コースが初心者向けであり, 距離と時間の掛かる中立, 冷沢, 上赤沢コースは中級者向けなので, それの結果に反映しているものと考えられる。

図-4 散策コース (複数回答)

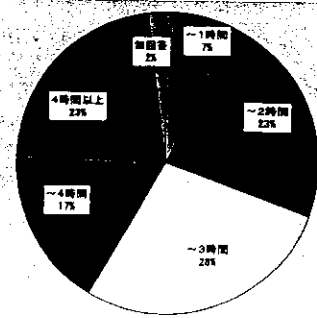


(5) Q 4

幹線国道からの距離もあり、林道の終点に位置する赤沢自然休養林には、大規模な宿泊施設も無いので、日帰りであるのが普通となっている。

前述の通り来園者の多くが県外者であり、往復時間も含めて考えると、2～4時間程度の滞在時間となる事が伺い知れる結果となった。

図-5 滞在時間



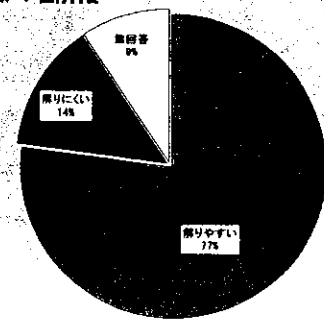
(6) Q 5

一般の人が森林について学べる様、解り易く見易い説明内容を心掛け、新規の看板設置整備を進めて来た。看板は統一規格の枠組とし、内容変更が簡単に出来て、且つ車椅子からの目線に合わせ、低目に設置をした。

理解度は77%が好評ではあったが、追加事項として、文字の大きさや、振仮名付けを求める声が多かった。案内板が交錯していて、解り難いと言う意見もあった。

図-6 看板の理解度

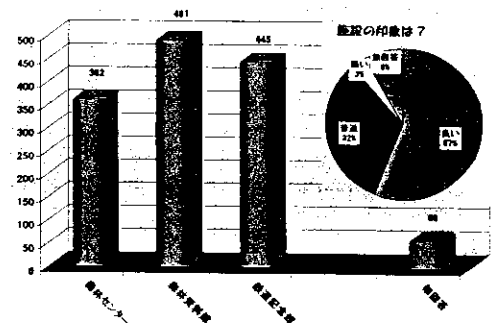
看板の理解度



(7) Q 6

今回の整備でリニューアルした森林資料館と森林鉄道記念館は、展示品も見易い様整理し、照明も効果的に使用したので、利用頻度、印象共に良好であった。森林センター内には、タッチパネル式案内モニターを設置した事により、待ち合わせの場、案内所としての機能も併せて発揮し、利用、印象共に良好であった。

図-7 利用した施設と印象（複数回答）



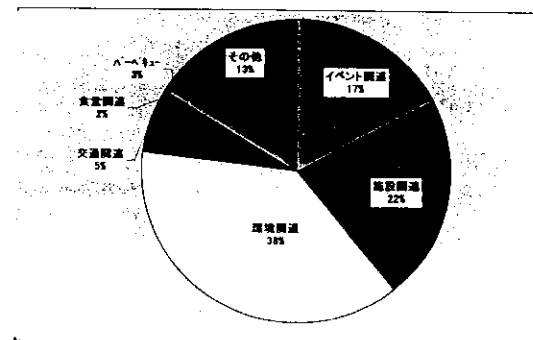
(8) Q 7

利用者からの意見・要望からは、整備を行なった側からは気付かない部分についての指摘が多く、改めて国民の森林に対する関心の高さを感じる事が出来た。

中でも自然環境に対する意識の高さは、要望に反映されており『森林と人との共生林』を模索する上での貴重な意見を得る事が出来た。

以下それぞれの関連事項について、利用者の意見を一部ではあるが掲載する。

図-8 意見・要望について



(9) アンケート意見・要望 [2-1]

環	<p>【良かった…53%】</p> <p>『老若男女、誰もが自然を楽しめる所だと思う。いい思い出になった』</p> <p>『ゴミが落ちていなくて、散策していても本当に気持ち良く自然を満喫出来た』</p> <p>『素晴らしい森林浴でした。ヒノキの香りで脳が活性化された様です』</p> <p>『木のぬくもりと水のせせらぎを感じ、人は自然と共存しているのだと改めて思った』</p>
境	<p>【もう一度来てみたい…18%】</p> <p>『森の香りが素晴らしく、また涼しく、心からリフレッシュ出来ました。また来たいです』</p> <p>『秋の紅葉はとてもキレイだと思いますので、今度は晩秋に来たいです』</p>
関	<p>『20年前に訪れた時、美しい森林に感動し、また来ると決めていました。子供達も私と同じ様に感激していました。何度でも来たいところです』</p>
連	<p>【川に関して…15%】</p> <p>『川のせせらぎに木の香り、全てが気に入りました。ストレス解消にもなりました』</p> <p>『自然の中での水遊びは、子供達にとって貴重な体験だと思います。大喜びでした』</p>
	<p>【このまま残して欲しい…14%】</p> <p>『自然が沢山で気持ち良かった。自然をこのまま残し、あまり人工的にしないで欲しい』</p> <p>『赤沢自然休養林は貴重な国の財産です。必ず次世代に引き継いで行って下さい』</p>
<p>◎多くの人がこの様な自然を貴重なものと捉えており、現状の維持を求めている事が解った。</p>	
施	<p>【施設整備がされていて良かった…27%】</p> <p>『ふれあいの道は万人にとって歩き易い工夫がされていて、素晴らしいと思った』</p> <p>『殆どのコースが以前より整備がされていて、気分良く散策出来た』</p> <p>『自然が美しく保護されながら、上手に道や足場が作られておりとても良かった』</p>
設	<p>【木道・木橋・あずまや等について…17%】</p> <p>『木道の板が外れていて水溜まりに落ちた。木橋の手摺や丸太も新しくして欲しい』</p> <p>『休憩所(あずまや)で休もうとしたが、古く汚かったので利用しなかった』</p>
関	<p>【トイレについて…13%】</p> <p>『水洗なのに水が出なかった。しっかり管理してもらいたい』</p> <p>『トイレがもっとキレイなら、森林散策も更に気持ち良くなると思う』</p>
連	<p>【説明・案内看板について…6%】</p> <p>『いくつかのコースにある見晴し台に、周辺の山々の案内説明板を設置して欲しい』</p> <p>『コースの各所に案内看板があって、安心して散策が出来た』</p> <p>『コース分岐点の案内板が交錯していて、どちらに進めば良いのか迷う場面があった』</p>
	<p>【その他施設に対する意見…37%】</p> <p>『スベリ台の滑りが悪かったので、もっと滑るようにして欲しい』</p> <p>『溪流コースの後半はアスファルト道路なので、もっと工夫して改善して欲しい』</p> <p>『子供広場の遊具の整備、木のブランコを是非作ってほしい』</p>
<p>◎古くなった木造物については適宜修繕していきたい。またトイレは利用率の高い施設なので、更に維持管理の充実を図りたい。案内看板等については混乱を招かないように設置を心掛けたい。</p>	

(9) アンケート意見・要望 [2-2]

イ ベ ン ト	<p>【森林鉄道についての不満…41%】</p> <p>「森林鉄道の値段がイベント期間中は倍近くになり、森林鉄道だけに乗りたいのイベント分の料金を払わなくてはならないので、余計な出費がかさむ」 ※同様意見多数</p> <p>「単線での運行なのだから、折り返し地点での乗降車を可能にしてもらいたい」</p>
	<p>【良かった…23%】</p> <p>「イベントスタッフが親切で、とても感じが良かった」</p> <p>「森林鉄道、丸太切り、ウッドクラフトなど各イベントは楽しかった」</p>
	<p>【クイズについて…13%】</p> <p>「所々にクイズがあって、森林の勉強になったので、もっと沢山あった方が良い」</p> <p>「クイズが子供には難し過ぎるし、ヒントも無いので大人にも難しい」</p>
	<p>【その他気付いた事…23%】</p> <p>「小さい子供には丸太切りなどは出来ないので、幼児用のイベントを増やしてもらいたい」</p> <p>「乗車券は改札で販売してもらいたい。また運行時期・時間等、詳細にPRして頂きたい」</p>
<p>◎イベント関連については上松町の運営に拠るところが大きいので、今回のイベントに関しての意見については、上松町との協議を図りながら進めて行く必要がある。</p>	
交 通	<p>【アクセス道路の改善を…58%】</p> <p>「道路の幅員が狭いので擦れ違いに苦労した。もう少し拡幅して欲しい」 ※同様意見多数</p>
	<p>【バスの利用について…24%】</p> <p>「バスの本数が少ないので、時間の無駄が多い。本数を多くして下さい」</p> <p>「JRの各駅停車に合わせたバスの運行をお願いします」</p>
	<p>【国道の看板の整備を…18%】</p> <p>「国道19号線から、アクセス道路への繋がりが解りづらい」</p> <p>「国道にもっと解り易い案内看板を設置してもらいたい」</p>
<p>◎交通機関が多岐にわたるので、改善整備は国・県・町との協議により進める必要がある。</p>	
そ の 他	<p>「食事やジュースの値段が高すぎる。改善を要求したい」 ※同様意見多数</p> <p>「バーベキュー広場をもっと明るくしたらどうか。また料金が高すぎると思う」</p> <p>「(ログハウス調の) 気軽に入れる喫茶店があれば利用したいと思う」</p> <p>「散策後の汗を流せる施設(風呂やシャワー)があるとうれしい」</p> <p>「駐車料金を取られるとは思いませんでした。料金も高いと思います」</p> <p>「駐車場でアイドリングをやめさせて下さい。せっかくの森林浴が台無しになります」</p> <p>「休養林内では全面的に禁煙にするべきだと思います」</p> <p>「お土産にここならではの品物(苗木や木工品)を置いてみてはどうか」</p> <p>「キャンプ場があるのもっと良いと思います。(自然を壊さぬ程度に)」</p> <p>「今年は溪流広場に川のスベリ台が無くて、子供が残念がっていました」</p> <p>「自然の中でアスレチックが楽しめる様、もっと遊具を増やして下さい」</p> <p>「雨天時の遊び場が少ない様に感じますので、是非そういった施設をお願いします」</p> <p>「上松町の観光案内は大変行き届いており、対応が親切でとても好感が持てた」</p>

3 考察と課題

今回のアンケートは来園者の一部の声ではあったが、赤沢自然休養林に対しての入り込み状況や、各々の見方、考え方の傾向の一端を把握することが出来た。かねてから国民の自然環境、特に森林に対する関心が高まっていることから、より高度に森林が持つ多岐に亘る公益的機能の発揮が求められ、また来園者の社会形成環境の差から、森林に求められるものは益々多様化している現状となっている。それら多くの声に応えながら、我々は赤沢自然休養林と言う広大な自然フィールドを提供することで、更に多くの人達に森林に触れ合ってもらい、人と自然の在り方について考えて貰いたいと願っている。

またフィールドを提供する側として、安全の確保を図る事が重要である。冒頭で述べた通り、赤沢自然休養林内の施設（歩道も含めて）は、長年の使用から老朽化しているものも多くあり、それらを修繕することが安全への布石になると考えられる。アンケート意見の不滿意見を解消していくことも今後の大きな課題と言える。

4 F R E A Iについて

◎赤沢自然休養林と言う森林空間【F o r e s t】

◎木曾谷の林業史と文化についての研究【R e s e r c h】

◎小中学生の野外学習の場、幅広い年齢層の生涯学習の場としての教育環境【E d u c a t i o n】

◎広いフィールドを活用してのネイチャーゲームなどの野外活動【A d v e n t u r e】

◎自然に触れることで得られる感動【I m p r e s s i o n】

今後、赤沢自然休養林はF R E A Iをキーワードとして、更に機能の充実を図りたいと考えている。

おわりに

“自然と人間を結ぶ最適の場所である…”赤沢自然休養林が開園した昭和45年の式典で時の局長が式辞で述べられた言葉である。まさにそれを昇華した形が『森林と人との共生林』ではないだろうか。来園される多くの人々が自然に触れ合う事で、物質ではなく心に感じるものを持って帰れる空間を提供することが、森林管理署職員に求められる事だと思ふし、行なうべき施業の在り方だと考えられる。

当初、整備内容の是非を問う意味合いが強かったアンケートではあったが、来園者からの意見要望は、「現在と今後の自然環境に対し如何に接していくべきか」と言った様な意見が多く、良い意味で期待を裏切られた。林業に直接携わらない一般の人達も、何気なく『森林と人との共生林』を模索している姿は、とても嬉しい事でもあるし、我々にとっても励みになる結果でもある。

今回のアンケートから頂いた多くのアドバイスは、今後の森林^もづくりの指針として活用させて頂きたいと考えている。